

令和 8 年 6 月 19 日

泉南清掃事務組合 管理者

泉南市長 山本 優真 様

泉南市男里海浜区
区長 和田



要 望 書

平素より地域行政の推進にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新ごみ焼却場建設工事に關し、浜区として住民説明会（5月16日・5月27日）の内容を精査した結果、住民の安全確保および環境保全の観点から、下記のとおり質問ならびに改善を要望いたします。

記

1. 水銀に関する自主基準値の設定および改善要求（最優先事項）

今回の住民説明会資料では、硫黄酸化物・窒素酸化物・ダイオキシン類など主要な汚染物質について、法定基準より厳しい自主目標値が設定されている一方で、「水銀」についてのみ法定基準値（ $30 \mu\text{g}/\text{N m}^3$ ）と同一の数値が自主目標値として提示されていることが判明した。水銀は人体への毒性が極めて高く、微量であっても神経系への影響、胎児への影響、長期的な蓄積による健康被害が国際的にも強く懸念されている物質である。他の物質では自主基準を強化しているにもかかわらず、水銀だけが「法定基準と同一」という緩い設定となっている点は、住民にとって到底納得できるものではない。さらに、現行の旧施設における稼働データでは、水銀が法定基準を満たしていない事例が過去に複数確認されており、住民説明会でも「水銀だけ基準を守れていないのに、なぜ新施設でも厳しい自主基準を設けないのか」という強い不信感が示された。旧施設で基準超過が発生している以上、新施設においては「より厳しい自主基準値を設定し、確実に達成するための技術的対策を講じること」が不可欠である。

ついては、

- (1) なぜ水銀のみ法定基準と同一の緩い自主目標値なのか、その理由を明確に説明すること。
- (2) 新施設では水銀についても他の物質と同様に、法定値を下回る厳格な自主基準値を設定すること。
- (3) その基準を達成するための排ガス処理技術、薬剤投入量、設備仕様、運転管理方法など具体的な改善策を文書で提示すること。

以上3点を「質問」ではなく「改善要求」として強く求める。

2. 土壌汚染（鉛等有害物質）への対応と掘削計画の開示

新施設建設では地下約3メートルのピット掘削が不可避であり、当該地域は過去の企業活動の

泉南市
交付第 号
= 8.6.19
録 報 公 報 録

影響から、鉛をはじめとする土壌汚染への住民懸念が非常に強い。

旧プール解体時には外壁から想定アスベストが検出されるなど、事前説明と異なる事象も発生しており、住民は「掘削に伴うリスク」を極めて重く受け止めている。

については、掘削により排出される土砂量、搬出先、処理方法、飛散防止策、地下水への影響評価など、具体的な施工計画と安全対策を文書で明示することを求める。

3. 煙突位置の変更に伴う排煙シミュレーションと地域影響の開示

新施設では煙突位置が変更されるため、現状の排煙降下データ（バリウム等）を示した上で、新煙突からの排出物が浜区および周辺地域に及ぼす気流・環境影響について、事前のシミュレーション結果を開示すること。

また、操業開始後の定期測定項目・頻度・公開方法についても明確に示すことを求める。

4. 試運転期間中のデータ報告および運用前の住民説明会開催

プラント工事・建築工事完了後の試運転期間において、排ガス等の環境データをすべて公開すること。

本運用（実際の焼却開始）前には、試運転結果を住民へ報告する説明会を必ず開催することを確約いただきたい。

5. 工事期間中の交通安全対策および電波障害への対応

工事車両・従業員車両の通行ルート、時間帯、警備員配置等の安全対策を明確にすること。

また、施設高層化に伴う電波障害の可能性について事前に予測を示し、発生時の補償・対策を文書で回答することを求める。

以上